

コンドロイチン ヒアルロン酸 アセチル グルコサミン コラーゲンペプチド

- 内容量：630 g
- 形状：粉末
- 価格：56,000 円(税込 60,480 円)
- お召し上がり方：1 日 11g を目安に。
- 【栄養成分表示：11g(15ccスプーン1杯)当たり】
(推定値)



- ★ミニコンドロイチン ★内容量：60 g
- ★価格：6,800 円(税込 7,344 円)

カルシウム	280mg
マグネシウム	140mg
ビタミンC	500mg
パントテン酸	300.0mg
マンガン	3.0mg
ビタミンA	1040μg(3150 IU)
ビタミンD	15.0μg(600 IU)

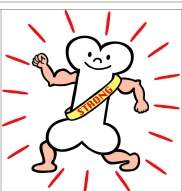
コンドロイチン	1600mg
コラーゲンペプチド	1500mg
還元パラチノース(パラチニット)	1400mg
アセチル・グルコサミン	1000mg
フラクトオリゴ糖	340mg
ヒアルロン酸	200mg
ケルセチン	100mg
リコピン	10mg



干し椎茸 2.3kg分の
ビタミンDを含みます。



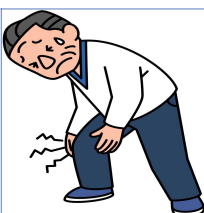
トマト(300g)60個分の
リコピンを含みます。
(トマト300g=リコピン10mg)



- リコピン・ビタミン D・オリゴ糖はカルシウムの吸収を助け骨や軟骨の形成を助けます。
- 牛乳280cc分のカルシウム(280mg)を含みます。

軟骨や骨の材料

「軟骨」は骨の間にあるクッションの働きをしています。加齢と共にすり減り、ひざや腰痛の原因となります。軟骨の主成分は、コンドロイチン硫酸+ヒアルロン酸(アセチルグルコサミン)+コラーゲン繊維です。骨は「コラーゲン繊維」に「カルシウム」「マグネシウム」などのミネラルが、「コンドロイチン硫酸」という接着剤に密着し作られます。



全身に必要なコンドロイチン硫酸

コンドロイチンの原料は『フカヒレ』

人体の60%は水分です。コンドロイチンは500～700倍もの保水力で全身の細胞をみずみずしく保ち、軟骨・骨・爪・毛髪・皮膚・靭帯・腱・眼・血管・肝臓など全身に存在します。25才から徐々に減り、更年期には急激に減少します。不足すると「うるおい」を失いわ・たるみなど老化が進行します。



ヒアルロン酸

「関節液」の粘度を保ち、関節、硝子体、皮膚、脳などの結合組織の成分で、痛みを起こすサイトカインを制御する因子を増やし、関節痛の改善が確認されています。又、皮膚水分量の増加が報告され、又、腸管のTLR4受容体に結合し、自己免疫疾患を抑制する可能性が示唆され、炎症因子(IL6)を減少させます。ヒアルロン酸は、非常に高い粘性と弾性が特徴です。

アセチル・グルコサミン

植物由来のグルコサミンを原料(主にトウモロコシ)として微生物を利用して発酵することによってつくられます。カニやエビ等の甲殻類を使用していないためアレルギーのある方も利用できます。体内でヒアルロン酸の材料として利用され全身の結合組織や軟骨に使われます。



コラーゲンは、ビルの支柱

陶器をハンマーでたたくと一撃で壊れますが、骨は壊れません。その理由はコラーゲンが鉄筋の役目をして、粘り強さを作っているからです。◎コラーゲンは「コンドロイチン硫酸」と結合すると安定し強度を増します。



- 抗酸化物質のリコピンはトマトに多く含まれ骨や、軟骨の形成を助けます。
- ビタミンD₃はカルシウムの吸収率を高め、更に、骨や軟骨の形成を助けます。
- パントテン酸+ビタミンA+マンガンは、コンドロイチンなどの結合組織の合成に必要です。
- ケルセチンは、最近の研究で骨密度減少を抑制する可能性が示唆されています。

こんな方に、お勧めします

- *しわ・たるみが心配な年齢の方
- *関節が弱い・高齢で薬多用な方
- *眼が乾く方・粘膜の弱い方
- *老眼が気になる中年の方
- *術後の速やかな回復が必要な方



注：ゼラチン・乳アレルギーの方お控えください。